

昭和61年度～平成3年度

特別研究費設立経緯

大学及び地域の発展に寄与する学術・教育の研究に対し奨励することを目的に昭和59年12月「特別研究費規則」が制定された。翌60年度から1件30万円（件数によって20万円）の奨励金が交付されることになり、以後毎年度2～3件の研究に対し奨励されてきた。

昭和61年度から平成3年度までの奨励研究のテーマは以下のとおりである。

【昭和61年度】

「深非弾性構造関数のQCD摂動計算に現われる計算処法依存量の分析」 —特に摂動2次の大補正項の処理について—

中川寿夫・牲川 章・横田 浩

「戦国期から江戸時代にかけて形成されてきた奈良町（旧奈良市街）における支配と都市構造を解明するために奈良奉行所および各個別町共同体に関する史料の収集と分析」

鎌田道隆・松山 宏・下坂 守・藤田彰典

「西大寺およびその付近を描く中世の古地図に関する歴史地理学的研究」

野崎清孝・藤田裕嗣

【昭和62年度】

「奈良市内を描く古地図に関する歴史地理学的研究」

野崎清孝・藤田裕嗣

「GISによる橿原市都市構造の研究」

碓井照子

「大阪大都市圏における女子の就業率分布と交通条件との関連性の研究」

小方 登

【昭和63年度】

「事林広記」諸本の比較研究

森田憲司

「地理学研究と大学教育との関係に関する諸問題の検討」

水津一朗・野崎清孝・水田昭夫・坂本英夫・池田 碩・吉越昭久・碓井照子

小方 登・藤田裕嗣

【平成元年度】

「残存脂肪酸分析による人体埋葬の研究」

西山要一・藤原 剛

「日本の少数民族問題と教育」 —アイヌを中心に—

青木芳夫

特別研究費概要報告

【平成2年度】

「高等教育機関における国際交流制度の現状と課題に関する比較調査研究」

市川良哉・武久文代・東山弘子・山田隆敏・高見 茂

「らい菌のPGLの糖鎖を用いた抗原抗体反応の機構の研究」

藤原 剛

「文学時代」を中心としたモダニズム文化のイメージの分析

和田博文

【平成3年度】

「らい菌のPGLの糖鎖を用いた抗原抗体反応の機構の研究」

藤原 剛

(『特別研究費概要報告』(P173)に掲載)

「地価高騰が土地利用・住宅生活に及ぼす影響について—大阪都市圏の例—」

實 清隆

(『論文』(P93)に掲載)

「酸性雨・酸性霧が文化財に与える影響の研究」

西山要一

(『論文』(P101)に掲載)